

管理運営状況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、当所の収入が大幅に減少した令和3年度から幾分回復したものの、コロナ前と比較すると厳しい財務状況であり、施設設備等の修繕を行うための予算(管理運営経費)は依然として大幅に減少したままとなりました。

このため、大規模な修繕工事や設備整備を実施することはできませんでしたが、光熱水料や通信費の節約に努め、職員自らが整備、修繕作業等を行うことで経費節減を図るなど、工夫を凝らしながら、利用者の安全安心を第一に考え整備を進めています。

(1)利用者への安全安心・サービスの向上

①駐車場、周回道路の整備

車の往来等で見えにくくなっていた駐車場の枠線や道路標示、停止線を職員が協力して、新しく塗り替えました。明るく判りやすくなったことで、来所される方がスムーズに通行、駐車ができるようになりました。

また、周回道路と浴室棟通路との段差には、コンクリートで緩やかなスロープを造り、車椅子やベビーカー等でも通行できるよう整備しました。



②駐車場案内板製作、設置

初めて来所される方でも駐車場への経路が判るよう、周回路に職員手づくりの木製案内板を設置しました。材料には間伐材や廃材を利用し、利用者の方が迷うことが無いよう、また一目で確認できるように、文字の大きさや色、形や配置等を思案しながら、作成しました。

完成した案内板は、見通しの良い安全な場所に設置しました。



③キャンプ村枯松伐採

キャンプ村は、元は松林だったところを整備してできたキャンプ場です。近年、松くい虫の食害の影響により、立ち枯れする松の木が目立ってきました。

枯れた松の木の下には、道路や高床式のテント台が並びテントサイトがあるため、枝が折れ落下する恐れがあり、危険な状態でしたが、専門の業者へ伐採を依頼し、重機を使用して、枯れた松の木を十数本撤去しました。

これにより、キャンプ村での活動がより安全に行えるようになりました。



(2)老朽化、経年劣化への対応

①あそびの森木製遊具の撤去

あそびの森のフィールドアスレチックは利用者の中でも、子供達に大人気のプログラムです。

しかしながら、木製のため劣化の進行が早く、高額な維持費用がかかることから、あそびの森内の「丸太橋」と「丸太の砦」の木製遊具を撤去しました。

撤去した丸太は、施設整備の資材として、有効活用する予定です。



②機器の更新

レストラン厨房内の製氷機が経年により使用不能となりました。

氷は厨房において、食材の保存や冷却に利用されるだけでなく、夏期に利用される団体からのニーズも高くなることから必要であるため、新しく省電力タイプのものに更新しました。



(3)今後の取組について

本所は開所から40年以上経過し、建物や設備にも経年劣化が目立つようになり、建物の修繕や設備備品の修理も増えてきています。そのような中で、利用者の安全安心安全を担保し、本所において良質な活動や生活が提供できるよう、またそのような活動や生活に支障が生じないように、建物や設備の維持管理に必要な管理運営経費を確保することが重要となります。そのためにも今後は、収入の確保や経費削減に努めていく必要があります。

①予算確保に向けた取り組み

- ・利用者(収入)増を図る取組
- ・民間企業との連携事業強化
- ・助成金、補助金など積極的な活用
- ・寄付金の呼びかけ
- ・「クラウドファンディング」や「ネーミングライツ」による資金調達 など

②経費削減への取り組み

- ・契約方法、契約先の見直しや在庫管理の徹底
- ・節電、節水など省エネルギー化
- ・自施設で修理改修できるものは自分たちで行う
- ・費用対効果や安全を優先した施設維持管理
- ・「所報」や「利用の手引き」、配布資料のデジタル化 など